

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」に関する課題と目標・実績について

課 題	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析
文部科学省による「令和3年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果において、令和元年度と比較して全国的に低下しているとされており、主な要因として運動不足とされている。 また、同省による「令和2年度 青少年の体験活動に関する調査研究」の分析結果において、「小学校の頃に体験活動を多くしていた子どもは、そのあと、高校生の時に自尊心や外向性等の項目の得点が高くなる傾向が見られる」とされているが、体験活動の機会が減少している。 どちらも新型コロナウイルスの影響が大きく、当町としても例外ではない。	新規取り組み活動の充実 ・ミニ理科教室の実施 ・体を使ったレクリエーション活動の充実など。	当町における放課後子ども教室において、体を動かす事業や地域連携による多様な文化を体験する事業を実施し、課題解決を図る。	児童の体力向上及び自己肯定感の向上等につながる	1年間に3教室で実施する事業回数	24	件	24	18	目標回数を達成することができなかった。現状の業務量を見直しつつ、効率的に行う等目標を達成できる体制を整えていく。